

「肺非結核性抗酸菌症に対する内科および外科治療法に関する実態
調査と治療効果の解析（後ろ向き研究・化学療法および外科手術例）」
に關係する患者様ならびにその家族の方へ

2000年から現在までに、当院において肺非結核性抗酸菌症に対する内科および外科治療法を受けられた患者様について、治療前後に受けられた血液検査やX-線検査、手術で切除された肺の病理検査などから、肺非結核性抗酸菌症の化学療法や手術療法の効果を統計学的に検討する研究を行います。

研究にあたって患者様に新たにご負担をおかけすることはありません。患者様の過去のカルテ、X-線検査等の記録をもとに調査いたします。患者様にご迷惑をおかけすることはありません。患者様の個人情報 は 厳重に守られます。お名前、生年月日など患者様を特定できる情報が外に出ることは決してありません。ご不明な点がございましたら、本研究の責任者にお問い合わせ下さい。また、本研究への参加を希望されない場合も、本研究の責任者へお申し出下さい。

研究代表者

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180 番地
国立病院機構近畿中央胸部疾患センター
呼吸器外科医長・伊藤則正
TEL072-252-3021 FAX072-251-1372

なおこの研究は病院外の学識経験者、専門家の方を含んだ国立病院機構の中央倫理審査委員会における厳重な審査・承認を受けて実施しています。